

創立 50 周年記念誌

2018年

安城市ソフトボール協会

安城市ソフトボール協会 創立50周年記念式典・祝賀会



期日 平成30年（2018年）10月21日 会場 安城市中心市街地拠点施設アンフォーレ



加賀昭成 名誉会長



田川勝彦 会長



浜田実 安城市副市長



沓名俊裕 安城市体育協会会長



大見智 安城市生涯学習部長



野村富雄 安城市体育協会理事長



山本光法 愛知県ソフトボール協会副会長



石川博 愛知県ソフトボール協会副理事長



野々山尚武 愛知県ソフトボール協会西三河支部事務局長



野間保正 高浜市ソフトボール連盟副会長



小林鉄也 岡崎ソフトボール協会理事長



橋本靖デンソーソフトボール部事務局長



永田勤 副会長



田代常幸 副会長



林賢一 副会長



石川渉 理事長

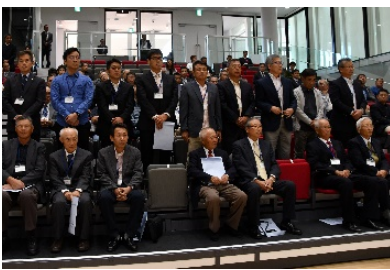
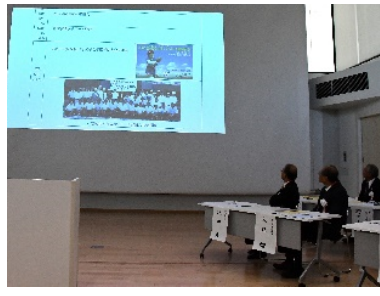


チーム表彰の皆さん



来賓・協会表彰の皆さん

式典・祝賀会 記録写真



式典・祝賀会に参加者の皆さん

式典・祝賀会写真 鈴木昌昭 廣江繁宣

目 次

挨拶	1~2
祝辞	3~6
創立50周年記念誌発刊にあたって	7
写真で綴る協会50年の歩み	8~142
協会主催大会の成績記録一覧表	143~153
協会主管大会の開催記録一覧表	154~160
安城市ソフトボール場はどこにありますか	161
協会主催大会・主管大会の球場紹介	162~164
主管大会に出席された役員の皆様	165~167
主管大会の記録写真	168~174
全日本大会出場したチームの一覧表	175~176
私の思い出	177~187
安城市ソフトボール協会規約	188~189
チーム登録一覧表(5年毎の経過)	190~192
歴代役員名簿	193~194
平成30年度登録審判員・記録員・指導者の名簿	195
オフィシャルソフトボールルールの主な改正等の経緯	196
野球規則と主に異なるソフトボールオフィシャルルールの紹介	197
審判部の記録・審判員派遣記録	198~202
記録部の記録・記録員派遣記録	203~206
競技用の道具の紹介と経緯	207~211
チーム・審判員・記録員の登録数推移一覧表	212
平成30年度登録チームの紹介	213~243
被表彰者一覧表	244~248
協会創立以前の記録	249~253
協会創立50年の歩み	254~261
特記事項	262

創立50周年を迎えて



安城市ソフトボール協会
名誉会長 加賀昭成
(2代目会長 昭和53年度～平成25年度)

当協会は、1968年（昭和43年）8月21日に安城市ソフトボール協会として設立し、この度、早くも50年の星霜が流れました。この間、伝統と歴史の重みは、計り知れないものであり、諸先輩をはじめソフトボールを愛する関係者各位の、献身的で格段のご支援、ご協力の賜と深い喜びと意義を感じるものであります。

さて、当市のソフトボールの始まりは何と言っても、昭和25年に第5回国民体育大会（秋季）が初めて愛知県で開催され、正式種目として採用されたことです。しかも安城市（現在は安城市）の安城公園競技場で行われました。これを契機として次第にソフトボール熱が高まり、やがて、安城学園高校と一般女子の倉紡安城の両チームによって、ソフトボール安城の名をとどろかせるように成りました。

その後、さらに平成6年に「いい汗キャッチ！生き生き愛知」をテーマのわかしやち国体ソフトボール競技少年女子種目が開催され、市民の関心が一段と盛り上がり、市内の生涯種目の参加チームが多くなりました。また、日本女子リーグや中国チームと日本代表女子チームによる国際親善試合の開催、全国大会のねんりんピック、エルダー大会、男子クラブ大会等、多くの試合を展開して参りました。特に、その中でも西三河地区の日本リーグに参加している「デンソー」「豊田自動織機」「トヨタ自動車」の3チームに人気があり、日本女子リーグ戦を観戦するファンが一段と多く成りました。

そして、待望の専用ソフトボール場（A球場）は、平成13年7月28日にオープンし、隣にB球場も完成しました。さらに、A球場は、平成30年7月に改修工事を終えて、フルカラー電光掲示板付の立派な施設として生まれ変わりました。

今後、ソフトボール協会として、幾多の試練に遭遇しながらも、常に、若い英知と勇気と情熱をもって一人ひとりがスポーツ精神に徹し、健康で明るい豊かなスポーツ都市として協力していきたいと思うところです。

安城市が推進するスポーツ推進計画「スポーツをする、観る、教える、支える」を基本理念として、次代を担う青少年育成と創立50周年を期に新たに188,690名の市民から愛されるために過去の貴重な体験と経験を活かし、次の60周年、70周年へと過ぎた時点で悔いなきよう共に頑張りたいと思います。

最後に、皆様の尚一層の力強いご理解あるご協力をお願いいたしまして創立50周年記念の挨拶の言葉と致します。

50周年記念誌発刊にあたって



安城市ソフトボール協会
会長 田川勝彦
(平成26年度～3代目会長)

安城市ソフトボール協会は、今年で創立50周年を迎えました。この記念すべき大きな節目の年を、迎えることを、皆様と共に、喜びたいと思います。長年にわたる当協会の、発展・推進を目指し、日々努力を重ねられた諸先輩の皆様と、その活動に格別のご理解・ご支援頂きました関連団体・行政機関、等の、皆様のお陰と厚く感謝を申し上げます。

また、先輩や私達が、活動してきました足跡を振り返り、50年の活動を記録し、明日への飛躍の糧として、50年誌を発刊できますことは、この上ない喜びであります。当協会は昭和43年に、設立されました後、「行うスポーツ」として、会員の皆様に参加して頂く、市内での定期的な多くの大会の開催、また、「観るスポーツ」として、全国トップレベルの選手がプレーする、幾多の大会が開催されてきました。

平成6年の「わかしゃち国体」、平成13年ソフトボール専用球場設立に伴う、「日本女子1部リーグ」の連続開催などは、記憶に新しいところであります。

また、記念すべき50周年の今年7月1日には、ソフトボール専用球場が、リニューアルされ、7月末に、「世界選手権大会出場カナダチームのキャンプ」。9月8・9日には、「日本女子1部リーグ（第6節）」が、開催されました。

社会情勢の変化や、会員の皆様の価値観の多様化が進む中で、当協会も時代に適応していかなければなりません。先輩達が築かれました伝統を、継承しつつ「自己改革」を、図りながら市のスローガンである「健幸のまち安城」の「スポーツで健康」を、当協会が牽引するつもりで、今後も努めてまいります。これらの想いに、50周年記念誌の発刊が、一助になれば幸いです。

結びに、関係各位の一層の、ご支援と、ご指導・ご協力を、お願い申し上げます。また、関係の皆様から、多数ご祝詞を賜りましたこと、ならびに、編集・発刊に携わって頂きました皆様に、心から敬意とお礼を申し上げます。

祝 辞



安 城 市 長
神 谷 学

このたびは、安城市ソフトボール協会が創立50周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことに心よりお祝い申し上げます。50周年を迎えるにあたり、数多くの困難や苦労があったと思いますが、選手はもとより関係者の皆様方のご努力の賜物と、深く敬意を表す次第でございます。

既にご存知とは思いますが、安城市では諸先輩方のご尽力があり、ソフトボール競技の振興と深く関わっております。昭和25年の愛知国体(第5回)で公式種目となったソフトボール競技の受け入れや、昭和43年日本女子リーグで本市のチームが優勝するなどの輝かしい歴史がございます。その流れを受け、貴協会は昭和43年に設立されて以降、県大会は勿論のこと、多くの東海大会や全国大会を誘致し、本市にトップレベルのスポーツを観る機会をご提供いただきました。その中でも特に印象に残っているのが、平成6年のわかしゃち国体におけるソフトボール競技の開催です。協会の方々を中心に市民、市が一体となって運営し、応援する姿に改めてスポーツの素晴らしさ、感動を伝えられたと感じております。

さて、この節目を迎えられた2018年は、7月に安城市ソフトボール場をリニューアルオープンいたしました。7月25日～8月1日の間、カナダ女子ソフトボール代表チームが、世界選手権の事前合宿を本市で実施していただき、9月には女子ソフトボール日本リーグを開催するなど、本市にとりましてもソフトボールを通じたスポーツ振興の1年であったと感じております。また、2019年からは全日本大学女子ソフトボール選手権大会の5年間の開催や、2026年には、アジア競技大会の競技会場候補地となっていることなど、今後、ますます市内外から注目が高まると感じており、貴協会にはその中心としてのお力添えとご活躍を期待しております。

最後になりますが、これまでご尽力いただきました関係者の皆様に敬意を表すとともに、貴協会がますますご発展いたしますことを祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。この度は誠にありがとうございます。

祝 辞



NPO法人安城市体育協会
会長 沓名 俊裕

この度は、安城市ソフトボール協会が創立50周年迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

安城市ソフトボール協会は、昭和43年8月に創立されて以来、競技の普及と発展に寄与された功績は多大なものであり、安城市におけるソフトボール競技の注目度の高さは、まさに貴協会の献身的な努力の賜物と深く敬意を表します。

創立10周年の記念として中国から女子チームが来県した際、日中対抗国際女子安城大会を開催、昭和62年、63年さらに平成2年、3年と2回2年連続で日本男子・女子ソフトボール選手権大会を開催するなど、今日に至るまで日本女子リーグの開催は多年にわたるものであります。

平成28年10月から改修工事が進められていた安城市ソフトボール場は、貴協会の節目である本年平成30年7月にリニューアルオープンを迎えました。今年度は日本リーグの再開、次年度には大学選手権大会が5年間の開催を決定しており、安城市におけるソフトボール競技の賑わいはさらに向上することと思います。

このような折りに、深い歴史と功績を有される貴協会が創立50周年の記念誌を発行されますことは、誠に意義深いものと存じます。今後とも、ソフトボール競技を通じ、スポーツ振興ならびに多くの人々がスポーツに親しむためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

むすびにあたり、永年にわたり協会の発展に寄与されてきた役員様、関係各位の皆様のご功労に深く感謝申し上げますとともに、安城市ソフトボール協会の益々のご発展をご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

創立50周年を祝して



愛知県ソフトボール協会
会長 古川 真也

この度、安城市ソフトボール協会が創立50周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協会のあゆみを見てみますと、昭和25年第5回国民体育大会愛知大会でソフトボール競技が安城市にて開催されたことを契機に、安城市体育協会ソフトボール部として活動をされ、昭和43年に安城市ソフトボール協会として設立・発足と発展されています。

協会創立後は、更にソフトボール競技普及に向け、国際大会、全日本大会、日本女子リーグなど大きな大会を開催し、競技チームの拡大、選手の育成、指導者、審判員、記録員の養成、ソフトボール場の拡充や専用球場新設など、ご努力をいただいたことがよく解ります。

また西三河ソフトボール連合会発足に向けた活動や、愛知県ソフトボール協会発展のために役員の高齢化など、積極的に取り組んでいただき、当時の役員、関係者の皆様のご尽力に、敬意と感謝の意を表する次第です。

2020年に開催されます『東京オリンピック』で、追加競技種目として「野球・ソフトボール競技」が復活することが決定されました。

この復活によりソフトボール競技が以前のように大いに盛り上がり、競技人口も増えて来るものと思いますが、2024年以降のオリンピックでもソフトボール競技が継続されるためにも、更なるソフトボール普及活動が必要となりますが、安城市では『全日本大学女子選手権大会』を2019年より5年間、2026年には『第20回アジア競技大会』の開催など積極的に取り組んでいただいております。今後も「市民から愛されるスポーツ」として、引き続きソフトボール競技の普及と選手育成をよろしく願いいたします。

終わりに、貴協会の更なる発展と関係者の皆様のご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝 辞



愛知県ソフトボール協会
西三河支部長 山本光法

このたびは、安城市ソフトボール協会が、創立50周年を迎えられましたことを心からお祝いとお慶びを申し上げます。

貴協会は、創立以来、半世紀に亘り、日本リーグ・全日本大会・中日本総合大会・東海地域大会を積極的に開催され、西三河地域はもとより県内地域の中核となって、ソフトボール競技の普及、発展に寄与されてまいりました。今日に至る貴協会の歴代の役員の皆様のご尽力に厚く感謝を申し上げます。

思えば、安城市のソフトボールの原点は、昭和25年に第5回国民体育大会で正式競技となったソフトボール競技を開催したところにあつたのではないのでしょうか。以来、安城市の皆様はソフトボールを通じて、ふれあいの場を広げ、活気あふれる街づくりを展開されております。

この度は、ソフトボール専用グラウンドも改修整備がなされ、いよいよ盛況になってまいりました。安城市が地元企業の「デンソー女子」チームのフランチャイズとなり、「日本女子ソフトボールリーグ安城大会」が開催される運びとなりました。安城市民の皆様には、フランチャイズ・チームの選手の活躍を間近に観戦できますことに、大きな喜びと感動を得る機会となることでしょう。

このことから、安城市民の皆様には、ますますソフトボールが身近なスポーツとなってまいります。今後も引き続きまして、安城市ソフトボール協会の役員の皆様には、ソフトボールの普及と発展にご尽力をいただけますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会の更なる発展と役員、関係者の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。

創立50周年記念誌発刊にあたって



安城市ソフトボール協会
理事長 石川 渉

当安城市ソフトボール協会が昭和43年8月21日に創立総会が開催されてから半世紀の節目を迎えることができ、幸いにも50周年記念誌を発刊することができました。この間の諸先輩方々の協会発展のため並々ならぬ熱意と努力に対して敬意をはらいたいと思います。

昭和25年に当地で開催の国民体育大会を契機に安城市民にソフトボール熱を広める事ができたと聞き及んでおります。これ以後、当市では数多くの全国大会・国際大会が開催されました。その折々に大会運営役員として携わさせて頂きました。その中でも、昭和54年の日中対抗国際女子ソフトボール安城大会が初めての国際大会で前夜の悪天候を気にしながら無事に開催できた事を鮮明に思い出します。

平成6年の第49回国民体育大会「わかしゃち国体」も思い出深い大会でありました。官民一体で盛り上げる事ができ、幾度となく繰り返し行った打ち合わせも楽しいひと時でした。その他、思い出深い数多くの大会も経験させていただきました。

平成27年にデンソー女子チームが刈谷市から安城市に根拠地を移転され、一段とソフトボール熱が燃え上がりました。

平成30年度は、待望のソフトボール場A球場がリニューアルオープンし、10年ぶりに日本女子ソフトボールリーグ1部安城大会も愛知県ソフトボール協会及び西三河支部の皆様方のご指導のもと終える事ができ感謝申し上げます。

平成31年からの5年間開催される全日本大学女子ソフトボール選手権大会を成功裡におさめるために、安城市を「聖地」とすべく大学連盟・行政関係者とも連携し取り組んでまいりたいと思います。

最後に、皆様方の今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。